

花菖蒲の水盤作り

鳥取県東伯郡 山脇 信正

一握りの土を生かして、花菖蒲園の風情を室内で楽しみましょう。

- 一 水盤作りの苗の育て方
- (一) 株分けの際に小ぶりの苗を選びます。
- (二) ポットは直径五センチの小さいポットを使用します。
- (三) 土は無肥料で粘り気のある田土が理想です。



- (四) 苗は腰水方法で育てます。(発泡スチロールの魚箱使用)
- (五) 草丈が低く立ち葉、細葉性の品種を選びます。翠映、観桜、影法師、清少納言、徒然草、深海の星等

- 二 本植えの時期と植付け方
- (一) 七月下旬〜九月上旬頃に、ポット苗を水盤に本植えします。
- (二) 水盤は深さ一・五センチ、直径三十センチの小判型の水盤を使用します。深い水盤は草丈が伸びて、良い結果が得られません。
- (三) 植付け本数は、直径三十センチの鉢に十本を目安に植えます。
- (四) 苗の表を鉢の中心に向けて植えます。これをあやまると開花期に花茎が入り混じり、風情を損ないます。

三 本植の手順



① 水盤、赤玉土（小粒）醗酵油粕を用意



② ポット上部の土を少し落とす



③ 水盤に赤玉土を浅く敷く



④ 苗の表を鉢の中心に向け配置する



⑥ 固形の醗酵油粕を15から20粒施す



⑤ 赤玉土を上から振りかけ苗を固定する

四 肥料の与え方とその後の管理

(一) 肥料は固形の醗酵油粕(骨粉入り) 十五〜二十粒を九、十、

十一、十二月に月一回の割で与えます。春の花芽の付き具合は、秋の肥料によって決定すると言われるほど大事です。

(二) 水は十二月までは日に一回の割で与えます。十一月頃、株元がコロコロと膨らんでくれば、翌年の花付きは間違いありません。

五 冬の管理

日当たりの良い屋外で越冬させ、土を極端に乾燥させないよう、半月に一回の目安で灌水します。

六 春先の管理

日当たりの良い場所に置き、新芽が出始めた頃から醗酵油粕を鉢の表面に十五〜二十粒与え、その後は打ち切ります。水は土が乾いたら与え、水を控えるに管理するのが徒長を防ぐことです。また、メイチュウ予防のためオルトラン粒剤を散布します。



琴浦桜 山脇 信正 作出

ご案内

平成十六年度

「とつとり花回廊 花菖蒲展示会」

期間五月二十九日(土)〜六月六日(日)